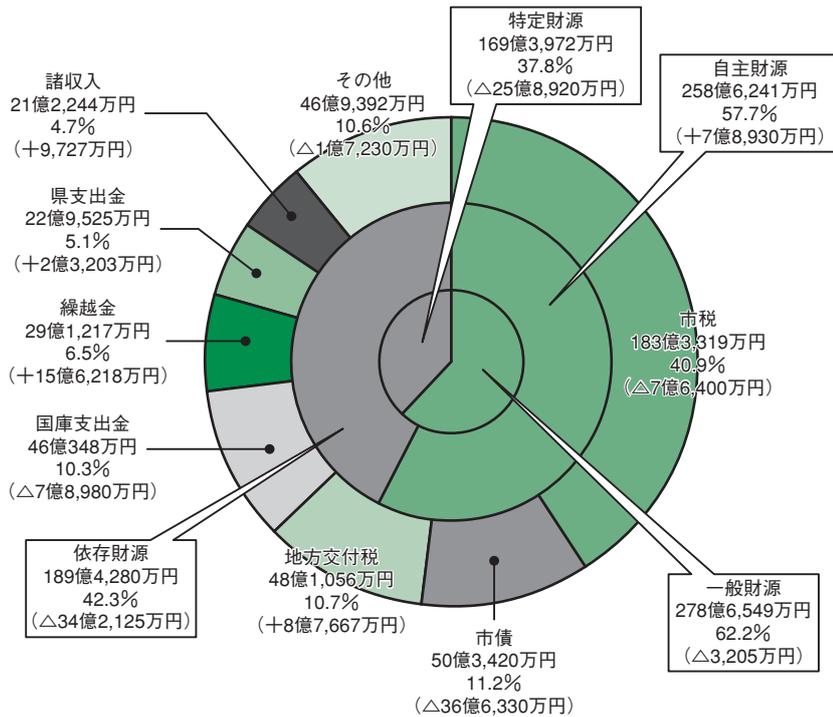


# 一般会計 歳入

【決算額】 448億521万円



歳入	平成21年度	平成20年度	比較増減額	前年比
市税	183億3,319万円	190億9,719万円	△ 7億6,400万円	96.0%
市債	50億3,420万円	86億9,750万円	△ 36億6,330万円	57.9%
地方交付税	48億1,056万円	39億3,389万円	+ 8億7,667万円	122.3%
国庫支出金	46億 348万円	53億9,328万円	△ 7億8,980万円	85.4%
繰越金	29億1,217万円	13億4,999万円	+ 15億6,218万円	215.7%
県支出金	22億9,525万円	20億6,322万円	+ 2億3,203万円	111.2%
諸収入	21億2,244万円	20億2,517万円	+ 9,727万円	104.8%
その他	46億9,392万円	48億6,622万円	△ 1億7,230万円	96.5%
計	448億 521万円	474億2,646万円	△ 26億2,125万円	94.5%

## 特別会計の決算状況

会計名	歳入			歳出		
	決算額	対前年増減額	前年比	決算額	対前年増減額	前年比
国民健康保険特別会計	123億3,238万円	△31億6,989万円	99.7%	113億6,337万円	△ 2億2,728万円	98.0%
老人保健特別会計	1億1,916万円	△ 8億1,685万円	12.7%	1億1,916万円	△ 7億1,801万円	14.2%
後期高齢者医療特別会計	6億8,873万円	+ 4,383万円	106.8%	6億7,437万円	+ 5,092万円	108.2%
介護保険特別会計	53億5,581万円	+ 2億1,099万円	104.1%	51億6,317万円	+ 1億2,701万円	102.5%
下水道事業特別会計	36億 129万円	△19億2,642万円	65.1%	35億8,049万円	△19億 977万円	65.2%
農業集落排水事業特別会計	1億 76万円	+ 23万円	100.2%	9,599万円	△ 99万円	99.0%
土地区画整理事業特別会計	1億3,816万円	+ 5,153万円	159.5%	1億3,816万円	+ 5,170万円	159.8%
公共用地先行取得事業特別会計	2,309万円	△ 24万円	99.0%	2,309万円	△ 24万円	99.0%
温泉事業特別会計	1億1,686万円	+ 3,818万円	148.5%	9,964万円	+ 4,822万円	193.8%
墓地事業特別会計	4,572万円	△ 7,389万円	38.2%	4,419万円	△ 7,137万円	38.2%

## 公営企業の決算状況

事業名	区分	収入			支出		
		決算額	対前年増減額	前年比	決算額	対前年増減額	前年比
水道事業	収益的収支	25億5,549万円	+ 3,021万円	101.2%	22億 29万円	+ 3,861万円	101.8%
	資本的収支	10億1,671万円	△9億4,546万円	51.8%	20億8,654万円	△8億6,763万円	70.6%

## 平成21年度 決算の状況

一般会計の決算額は、歳入448億521万円、歳出429億6100万円で、歳入と歳出の差引額から翌年度に繰越すべき財源を除いた額は、15億5372万円で、黒字決算となりました。

なお、市民1人当たりの決算額は、歳入が38万3087円、歳出が36万8009円となっています。

問い合わせ

本 財政課 ☎ 0287(62)7118

## 用語の説明

### 歳入

- 一般財源……………使用目的が限定されず、自由に使用することができるお金
- 特定財源……………使用目的が限定されているお金
- 自主財源……………自ら集めるお金
- 依存財源……………国、県などから交付されるお金
- 市税……………市民税や固定資産税、たばこ税など皆さんが納めたお金
- 市債……………道路や施設を整備するために、国や銀行から借り入れるお金
- 国庫支出金……………福祉援助や道路整備するために国から交付されるお金
- 地方交付税……………所得税、法人税、酒税など国税として徴収された中から、市の財政状況に応じて交付されるお金
- 諸収入……………学校給食費や、他の科目に含まれない収入金
- 県支出金……………福祉援助や道路をつくるために県から交付されるお金
- 繰越金……………前年度の剰余金

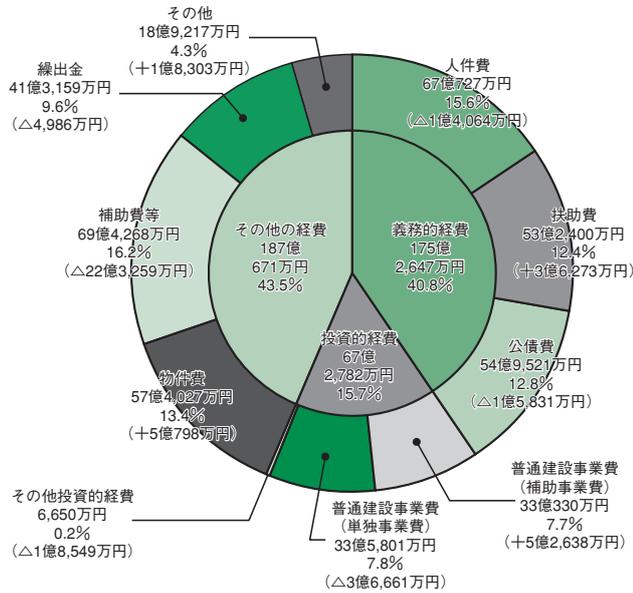
### 歳出（目的別）

- 民生費……………幼児や高齢者などを援助するための経費
- 土木費……………道路や公園などの整備や、管理するための経費
- 公債費……………借入金の元金や利子の返済経費
- 総務費……………税務事務や市役所運営のための経費
- 教育費……………学校や公民館の整備など、教育や文化を盛んにするための経費
- 衛生費……………ごみ処理や市民の健康増進を図るための経費
- 商工費……………商工業や観光の振興のための経費
- 消防費……………消防や救急、防災などのための経費
- 農林水産業費……………農林業や畜産業を盛んにするための経費
- その他……………議会費、労働費、災害復旧費の合計

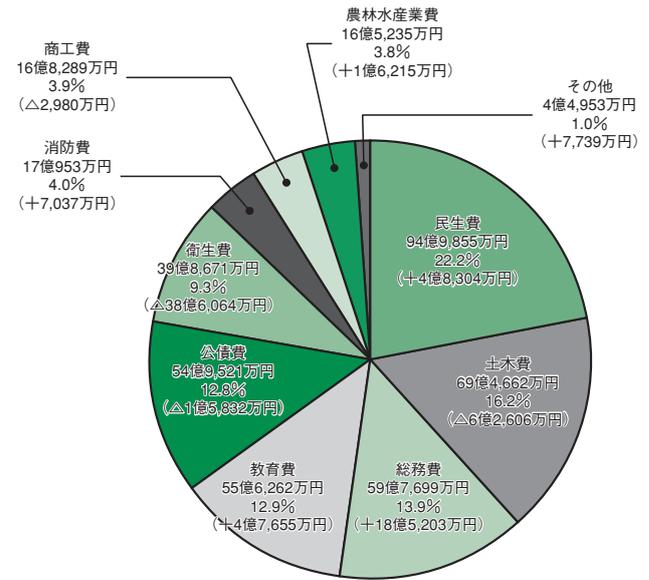
### 歳出（性別別）

- 義務的経費……………支出が義務付けられており、任意に削減できない経費
- 投資的経費……………道路の整備や学校の建設など、将来に残るものに充てる経費
- その他の経費……………義務的経費・投資的経費以外の経費
- 人件費……………特別職・一般職への給料などの経費
- 扶助費……………生活保護や福祉など、被扶助者に支出される経費
- 公債費……………借入金の元金や利子の返済経費
- 普通建設事業費……………道路、学校などの建設事業のための経費
- 物件費……………消耗品、光熱水費、賃借料、委託料など
- 補助費等……………各種団体などへの負担金や補助金などの経費
- 繰越金……………特別会計へ支出するための経費
- その他……………維持補修費、積立金、投資および出資金、貸付金の経費など

※性質別



※目的別



歳出(性質別)	平成21年度	平成20年度	比較増減額	前年比
人件費	67億7,277万円	68億4,791万円	△1億4,064万円	98.0%
扶助費	53億2,400万円	49億6,127万円	+3億6,273万円	107.3%
公債費	54億9,521万円	56億5,352万円	△1億5,831万円	97.2%
普通建設事業費				
補助	33億330万円	27億7,692万円	+5億2,638万円	119.0%
単独	33億5,801万円	37億2,462万円	△3億6,661万円	90.2%
その他	6,650万円	2億5,199万円	△1億8,549万円	26.4%
物件費	57億4,027万円	52億3,229万円	+5億798万円	109.7%
補助費等	69億4,268万円	91億7,518万円	△22億3,250万円	75.7%
緑出金	41億3,159万円	41億8,145万円	△4,986万円	98.8%
その他	18億9,217万円	17億914万円	+1億8,303万円	110.7%
計	429億6,100万円	445億1,429万円	△15億5,329万円	96.5%

歳出(目的別)	平成21年度	平成20年度	比較増減額	前年比
民生費	94億9,855万円	90億1,551万円	+4億8,304万円	105.4%
土木費	69億4,662万円	75億7,268万円	△6億2,606万円	91.7%
総務費	59億7,699万円	41億2,496万円	+18億5,203万円	144.9%
教育費	55億6,262万円	50億8,607万円	+4億7,655万円	109.4%
公債費	54億9,521万円	56億5,353万円	△1億5,832万円	97.2%
衛生費	39億8,671万円	78億4,735万円	△38億6,064万円	50.8%
消防費	17億953万円	16億3,916万円	+7,037万円	104.3%
商工費	16億8,289万円	17億1,269万円	△2,980万円	98.3%
農林水産業費	16億5,235万円	14億9,020万円	+1億6,215万円	110.9%
その他	4億4,953万円	3億7,214万円	+7,739万円	120.8%
計	429億6,100万円	445億1,429万円	△15億5,329万円	96.5%

■ 財産状況

公有財産	金額
土地	12,147,083㎡
建物	404,076㎡
山林など	6,436,255㎡
有価証券	1,680万円
出資による権利	12億1,227万円
債権	2万円
基金	95億9,424万円

11月11日～17日は  
税を考える週間です

国税庁では、毎年「税を考える週間」を定め、さまざまなイベントなどを開催しています。

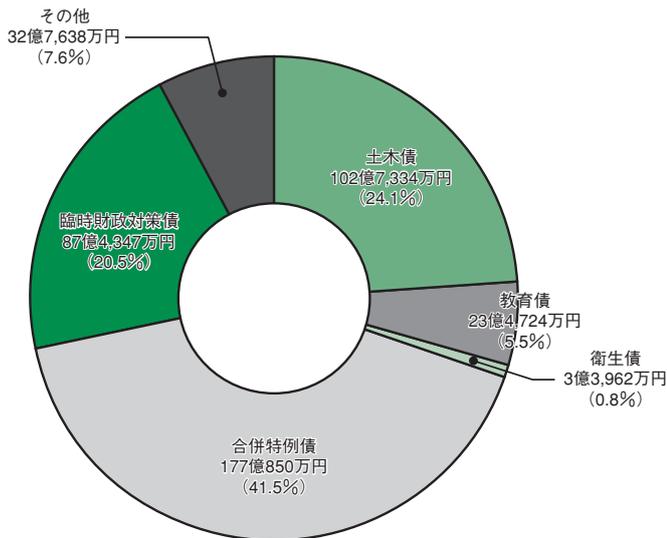
◆税金展（パネル展示）  
とき 11月11日(木)～17日(水)  
ところ 大田原税務署、東武宇都宮百貨店大田原店、足利銀行大田原支店、大田原図書館

◆納税表彰式、税に関する作文表彰式  
とき 11月16日(火)  
午後3時～4時30分  
ところ カシマウエディングリゾート（大田原市本町1-271-4）

◆税に関する無料相談会  
とき 11月13日(土)  
午前10時～午後4時  
ところ 東武宇都宮百貨店大田原店 1階

その他 予約の必要はありません  
問い合わせ 大田原税務署総務課  
☎0287(22)3115

## 市債の状況



### 市が借りているお金の残高 (平成21年度末 一般会計)

平成21年度に借り入れた金額は50億3,420万円、そのうち合併特別債は37億9,120万円です。主な借入目的は次のとおりです。

- ・第二期ごみ処理施設整備事業 ……9億6,230万円 (那須塩原クリーンセンター)
- ・西那須野地区まちづくり交付金事業…7億8,640万円
- ・学校耐震改修事業 ……………4億7,000万円

残高のおよそ5分の1を占めている臨時財政対策債は、本来地方交付税として本市に交付される額の不足分を借り入れているもので、その償還金は今後の地方交付税に算入されます。

#### 【平成21年度の元利償還金について】

平成21年度に返済したお金は、54億9,521万円です。  
(元金48億2,955万円、利子6億6,566万円)  
元利償還金のうち、29億386万円が地方交付税に算入されています。

## 平成21年度決算 財政の健全性に関する比率

実質公債費比率が前年度より1.1ポイント減となりました。これは、繰上償還により公債費が減少し、公債費充当一般財源が減少したためです。

また、将来負担比率が前年度より9.8ポイント減となりました。これは、下水道事業特別会計の繰上償還による地方債現在高の減などにより、公営企業債等繰入見込額が減少したためです。

平成21年度は前年度に引き続き、すべての指標で早期健全化基準・財政再生基準を大きく下回っているの、本市の財政状況は「健全な状態にある」と判断できます。

		健全化判断比率			
		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
一般会計等	平成21年度	—	—	12.8%	56.4%
	平成20年度	—	—	13.9%	66.2%
	早期健全化基準	12.03%以上	17.03%以上	25.0%以上	350.0%以上
	財政再生基準	20.00%以上	40.00%以上	35.0%以上	—

(注) 実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率の赤字または資金不足を生じていないものは「—」と表記しています。

		資金不足比率				
		水道事業会計	下水道事業特別会計	農業集落排水事業特別会計	土地区画整理事業特別会計	温泉事業特別会計
公営企業会計	平成21年度	—	—	—	—	—
	平成20年度	—	—	—	—	—
	経営健全化基準	20.0%以上	20.0%以上	20.0%以上	20.0%以上	20.0%以上

## 用語の説明

- 実質赤字比率  
一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合で、赤字決算の場合に該当し、赤字の程度を表します。
- 連結実質赤字比率  
一般会計等に加えて国民健康保険・介護保険・下水道事業などの特別会計や一部事務組合などの関連するすべての会計を対象とした実質赤字額の、標準財政規模に対する割合です。
- 実質公債費比率  
一般会計等が負担する公債費や公債費に準ずるものなど(特別会計や一部事務組合の借金返済額)の、標準財政規模に対する割合です。
- 将来負担比率  
一般会計等(公社や第三セクターなどを加えた連結ベース)が将来負担する可能性のある実質的な負債額の、標準財政規模に対する割合です。
- 資金不足比率  
各公営企業会計の資金不足額の事業の規模に対する割合です。
- 早期健全化基準  
4つの健全化判断比率のうち一つでもこの基準を超えた場合、「財政健全化計画」を策定して自主的な改善努力による財政の健全化に取り組まなければなりません。
- 財政再生基準  
4つの健全化判断比率のうち一つでもこの基準を超えた場合、「財政再生計画」を策定して国などの関与による財政再生を行わなければなりません。
- 経営健全化基準  
この基準を超えた公営企業は、「経営健全化計画」を策定し、早期に経営健全化に向けた取り組みを行わなければなりません。